

記者発表資料

原宿交差点で最後のシールドマシンが到達します

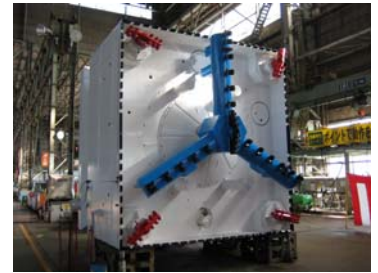
～平成22年内の開通に向け工事を推進しています～

国道1号原宿交差点の立体化工事については、平成21年4月に東京方向（上り線）のトンネルが開通し、現在、平成22年内の上下線開通に向け工事を推進中です。

この立体化工事のハーモニカ工法は、交通への影響を少なくするよう、路面の掘削を行わずに小型のシールドマシンを使って小さなトンネルを積み重ねて造り、それを最後に一体にし、大きなトンネルとするものです。

本工事では4本の小トンネルを掘削しますが、今回、**最後のトンネルが貫通し、シールドマシン先端が立坑に顔を出します。**

今後は、トンネル内のコンクリート打設や附属設備等を整備し、年内の立体部完成を目指してまいります。



貫通予定日時：平成22年4月16日（金）
16時00分～17時00分

施工場所：国道1号原宿交差点 横浜側作業スペース
（横浜市戸塚区原宿2）

※取材をご希望される方は、4月16日（金）13時までにご連絡をお願いします。

取材関係者を対象に、当日15時40分よりハーモニカ工法等の概要説明を現場事務所で開催しておりますので、ご希望の方は15時30分に現場内取材受付の方へお集まり下さい。

※工事の進捗状況はあくまでも予定であり、状況により変わる場合もあります。

※雨天の場合は、時間変更や延期となる場合があります。

発表記者クラブ

竹芝記者クラブ 神奈川建設記者会
神奈川県政記者クラブ 横浜市政記者会 横浜ラジオ・テレビ記者会

問い合わせ先

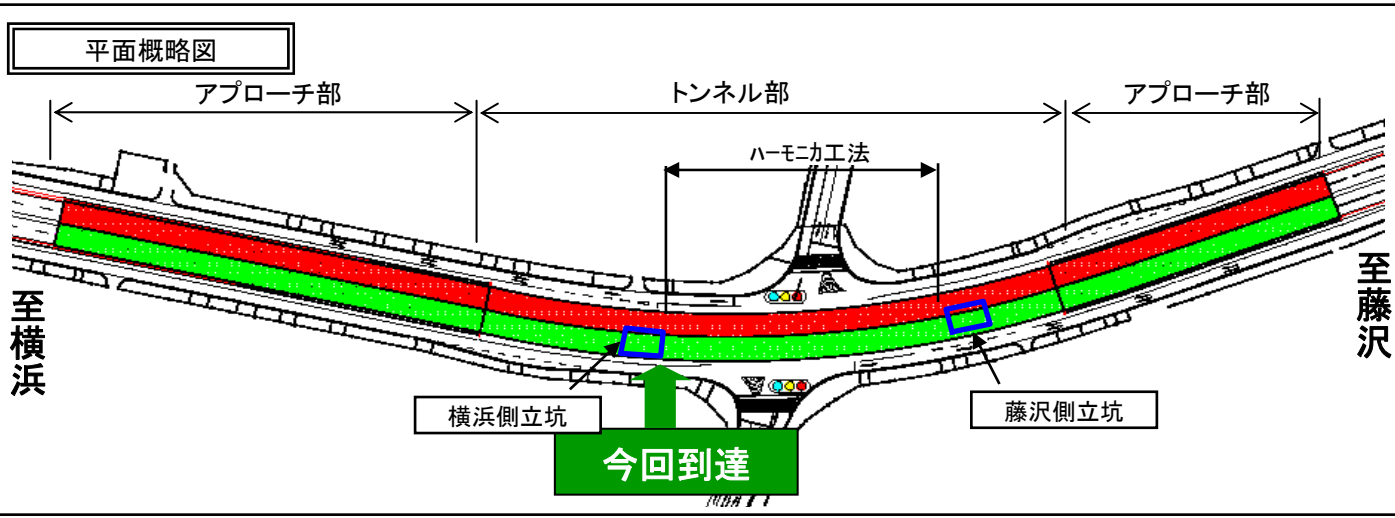
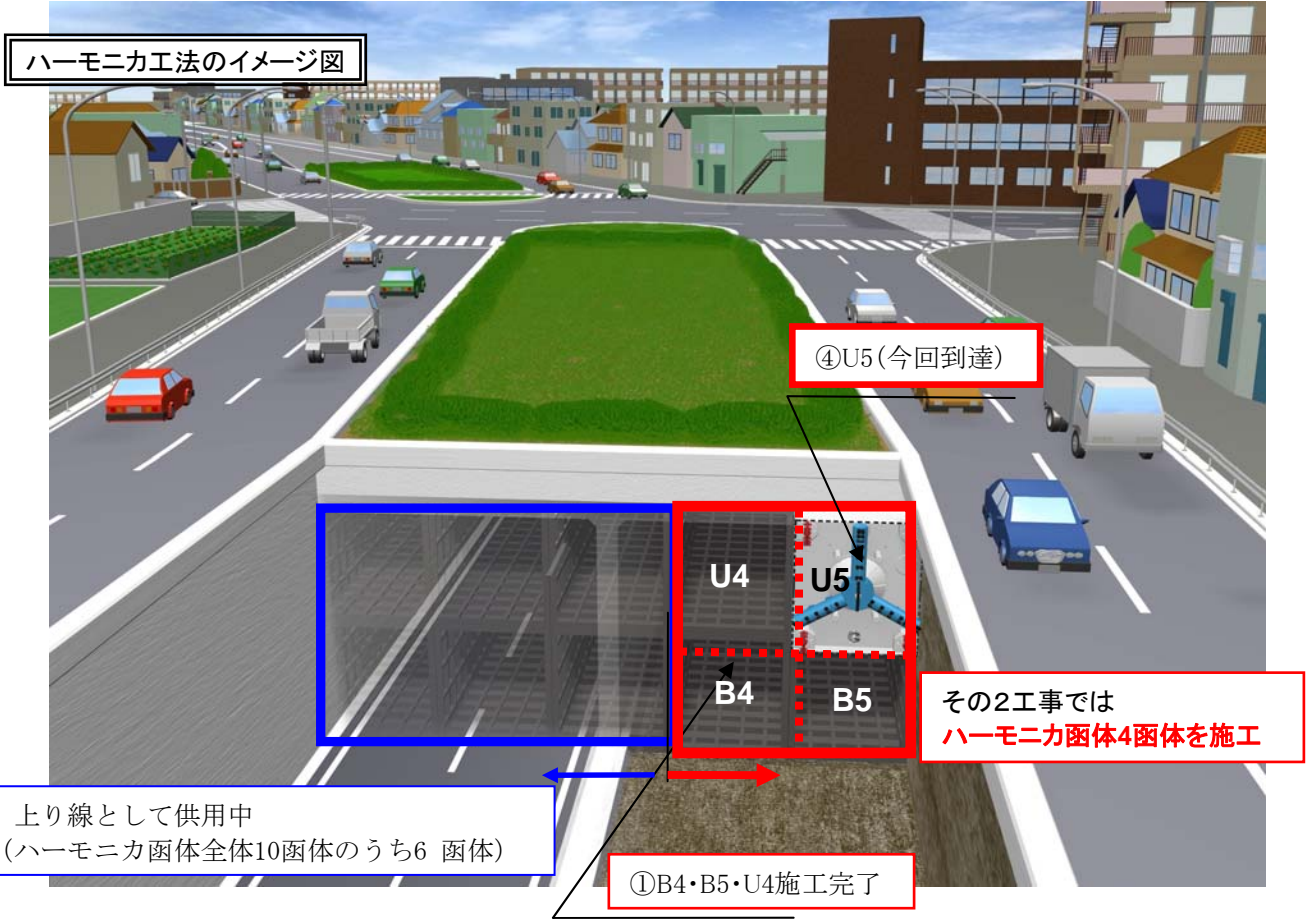
国土交通省 関東地方整備局 横浜国道事務所
電話 045-311-2981（代表）

副所長（改築） とくだけ 徳 嵩 きみあき 公明
工務課長 いがらし 五十嵐 かずお 一夫

1. 作業現場について

交差点下トンネル部とアプローチ部の現場を予定しています。

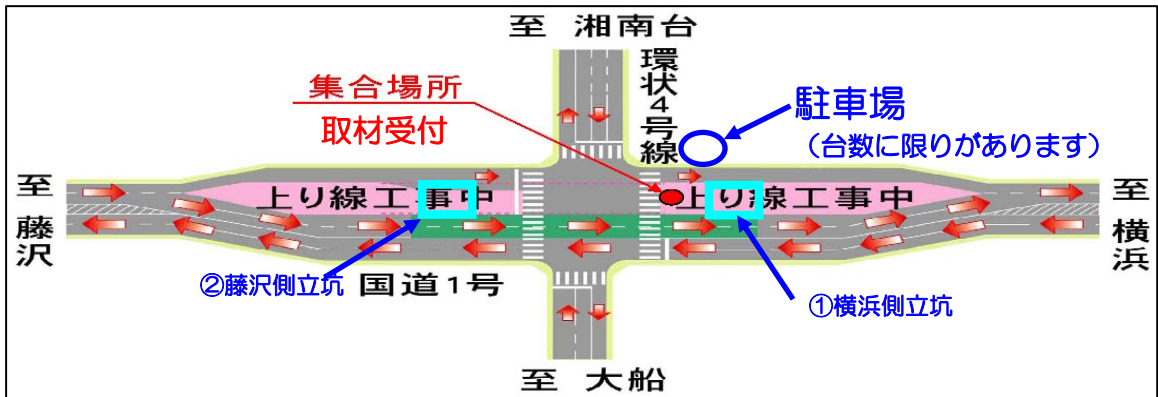
特にトンネル部については、ハーモニカ函体のU5（下イメージ図参照）のトンネルが貫通しシールドマシンが横浜側立坑に到達した段階になりますので、シールドマシンの先端部の様子も確認して頂く事ができる予定です。



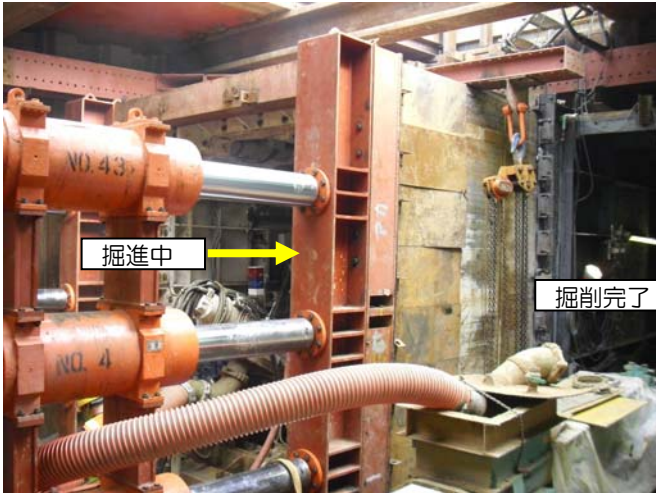
2. 当日の流れ

15:30 原宿交差点 横浜側作業スペース 集合（下図）

- ①横浜側立坑から地下へ → 地下通路にて交差点直下を通り抜け →
- ②藤沢側立坑 → 地上部でアプローチ部見学（全体で約30分程度）



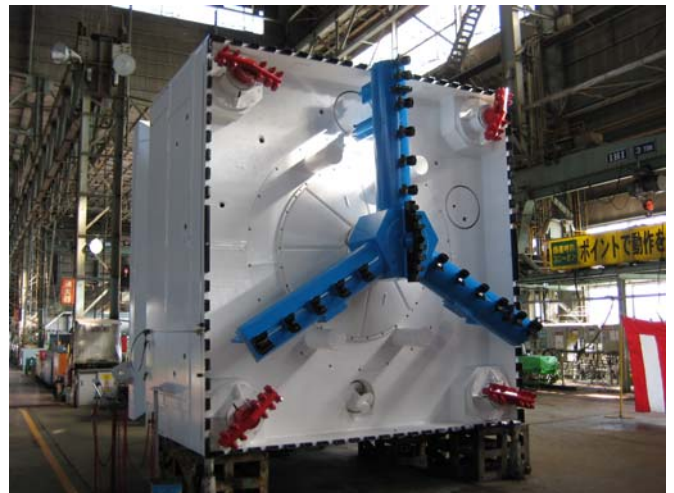
3. 現場写真、シールドマシン



発進側立坑の状況（藤沢側）



到達側立坑の状況（横浜側）



(概要)原宿交差点改良事業

○概要と目的

国道1号原宿交差点は、その前後が横浜新道、新湘南バイパスといった自動車専用道路で整備されており、多様な交通が集中し渋滞しています。本事業区間は、県内渋滞ワースト1であり、その渋滞損失額は年間約100億円になります。

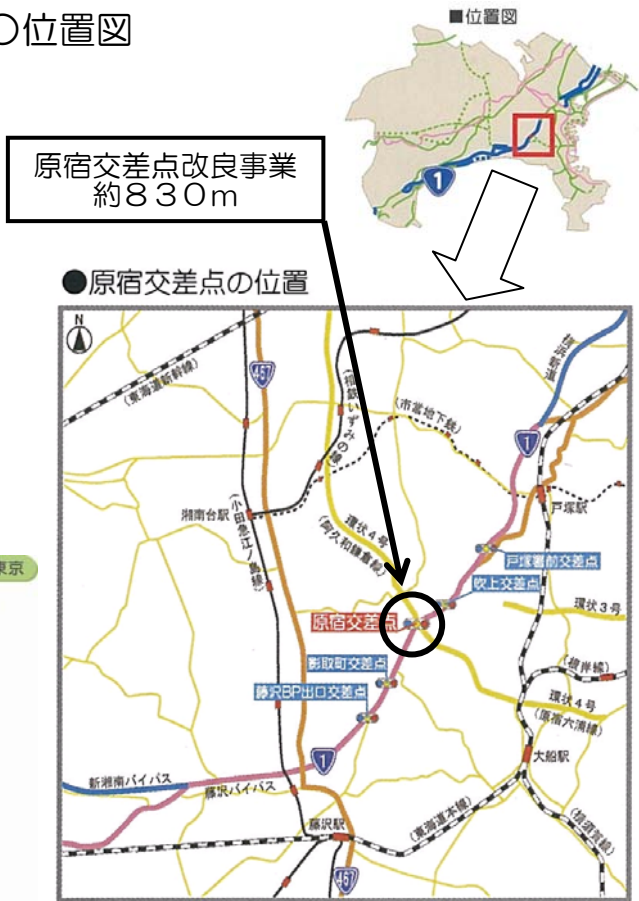
原宿交差点改良は、国道1号と環状4号との交差点を立体化（国道1号を地下へ）し、国道1号の通過交通と環状4号との出入り交通を分離することによって、交通混雑を解消し、横浜市の放射・環状方向の円滑な交通を確保することを目的に計画されたものです。

○イメージ図（現在の状況）

平成21年4月に東京方向（上り線）が開通し、現在、22年内の上下線立体化完成に向け、工事を進めています



○位置図



至) 湘南台



至) 東京

至) 大船

至) 藤沢